Press Release

各位

2026年11月 17日

会 社 名 株式会社ステムセル研究所

代表者名 代表取締役社長 清水 崇文

ステムセル研究所の提携医療施設の医療従事者100名に聞いた さい帯血保管に関する意識調査

株式会社ステムセル研究所（本社：東京都港区、代表取締役社長：清水 崇文、以下「ステムセル研究所」）は、11月17日の「世界さい帯血の日」に合わせ、全国の提携医療施設の医療従事者100名を対象に、さい帯血保管に関する意識調査を実施しました。

※本調査は、当社の提携医療施設に勤務する医療従事者から得られた回答を集計したものであり、全国の医療従事者全体の意識を代表するものではありません。

さい帯血とは、赤ちゃんのへその緒と胎盤に含まれる血液のことで、血液のもととなる造血幹細胞などが多く含まれています。採取できるのは出産時の一度きりであり、脳性まひや自閉症スペクトラム障害（ASD）など、さまざまな疾患の治療に向けた研究が進められています。今回の調査では、99%が出産前に保管の選択肢を知ることを大切と考える一方、52%が研究の進展は妊婦さんやご家族に十分知られていないと感じていることがわかりました。

この結果から、妊婦さんやご家族が出産前にさい帯血の活用や研究について知り、保管するかどうかを検討できる機会の重要性がうかがえます。

■調査結果①

出産前に「さい帯血保管するという選択肢」を知る機会について尋ねたところ、「とても大切だと思う」が64%、「大切だと思う」が35%となり、合わせて99%の医療従事者がその重要性を認識していることがわかりました。

■調査結果②

医療従事者へ、さい帯血保管に関して、妊婦さんやご家族に「まだ十分に知られていない」と感じることを尋ねました。

その結果、最も多かった回答は「さまざまな疾患の治療に向けた研究が進んでいること」で52%となりました。次いで、「さい帯血を保管するという選択肢があること」が27%、「さい帯血は出産時にしか採取できないこと」が13%となりました。

■調査結果③

医療従事者へ、妊婦さんやご家族にさい帯血について知ってほしいことを複数回答で尋ねました。

その結果、最も多かったのは「採取できる機会が限られていること」（22.6%）でした。次いで、「再生医療などの研究が進められていること」（22.0%）、「現在の医療での活用について」（21.6%）が続きました。

また、「保管という選択肢があること」（19.6%）も多く挙げられました。

※割合は全回答数に占める各選択肢の回答割合を示しています。

■調査結果④

医療従事者へ、妊婦さんやご家族がさい帯血について知る機会は、いつ頃がよいと思うか尋ねました。

その結果、「妊娠前」が25%、「妊娠初期（～15週）」が22%、「妊娠中期（16～27週）」が26%となり、合わせて73%が妊娠中期までに知ってほしいと回答しました。

■医療従事者の声｜出産前に知ってほしい、さい帯血保管という選択肢

藤田医科大学病院　医師　N.M 先生

出産時は赤ちゃん自身だけでなく、ご家族・ご親族の病気にも有効治療の選択肢になる可能性がある幹細胞を保存できる機会であることの認識が広まることを願います。

■当社の今後の取り組み｜出産前に、さい帯血保管という選択肢を知っていただくために

さい帯血は、出産時にしか採取できない貴重なものです。しかし、保管するかどうかは、それぞれのご家庭が情報を十分に理解したうえで判断することが大切です。

ステムセル研究所では、全国の提携医療施設で開催される母親学級で、さい帯血保管についてご説明する機会をいただいているほか、各地のマタニティイベントにも出展しています。こうした活動を通じて、さい帯血の医療での活用の可能性や研究の進展、お子さまやご家族の将来に備えて保管することの価値をお伝えするとともに、妊婦さんやご家族からのご質問にも直接お答えしています。

妊婦さんやご家族が出産前に必要な情報に触れ、納得して判断できる機会の充実を目指してまいります。

■調査概要

調査対象	全国の提携医療施設の医療従事者
回答者数	100 名
職種別内訳	医師 17 名・助産師 55 名・看護師 24 名・その他 4 名
調査方法	インターネット調査
調査期間	2026 年 9 月 14 日～2026 年 10 月 9 日
実施機関	株式会社ステムセル研究所

■株式会社ステムセル研究所　概要

当社グループは「あたらしい命に、あたらしい医療の選択肢を。」をコーポレートスローガンに掲げ、産婦人科施設との強固なネットワークを活用し、再生医療・細胞治療を目的とした「さい帯」や「さい帯血」等の周産期組織由来の細胞バンク事業を展開しております。また、これらの事業基盤を活用し、再生医療・細胞治療分野における新たな治療法の開発に加え、関連領域における事業開発や投資にも取り組むことで、事業領域の拡大と収益機会の多様化を図り、グローバルかつサステナブルな成長と社会への貢献を目指しております。

設 立 年 月 日　：1999 年 8 月 5 日（東証グロース上場：7096）
資　本　金　：7 億 480 万円
代表取締役社長　：清水 崇文（しみず たかふみ）
本　　社　：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-19　東急虎ノ門ビル 2 階
TEL／ホームページ　：03-6811-3230　／　https://www.stemcell.co.jp/corporate/
グループ会社　：STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD.　株式会社ミルケア

【本件に関する報道関係のお問い合わせ・ご質問はこちら】
株式会社ステムセル研究所　総合企画本部
TEL：03-6811-3235 ／ MAIL：pr@stemcell.co.jp